

○H28 第1回自然再生活動

年月日	実施箇所	参加者	実施内容
H28.07.23	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班 い5小班 面積：0.04 ha 植栽本数：90本	一般募集 19名	植栽箇所に隣接する天然林の林床から広葉樹稚樹を採取。参加者は、大きめの稚樹をスコップで自ら穴を掘ってそのまま植え込み、小さめの稚樹は自ら作成したカミネッコンに苗木と土を入れ林内の安定した場所に置くといった作業を実施・体験。 その後、津軽峠周辺に点在するブナ巨木を巡る遊歩道「ぶな巨木ふれあいの径」と「マザーツリー」においてブナ林散策をし自然環境や生態系について学習。



カミネッコンを自ら作成。
(段ボール素材のポット)



稚樹を採取し土を入れ植栽



植栽作業中



ミズナラ稚樹の植栽状況

○H28 第2回自然再生活動

年月日	実施箇所	参加者	実施内容
H28.09.17	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班 い5小班 面積：0.04 ha 植栽本数：70本	一般募集 16名	植栽箇所に隣接する天然林の林床から広葉樹稚樹を採取。参加者は、大きめの稚樹をスコップで自ら穴を掘ってそのまま植え込むといった作業を実施・体験。カミネッコンは一個のみ作成し中に入る稚樹を選定。 その後、暗門溪谷に程近い遊歩道「世界遺産の径ブナ林散策道コース」においてブナ林散策をし自然環境や生態系について学習。



隣接する天然林から広葉樹稚樹を採取



ミズナラ稚樹の採取状況

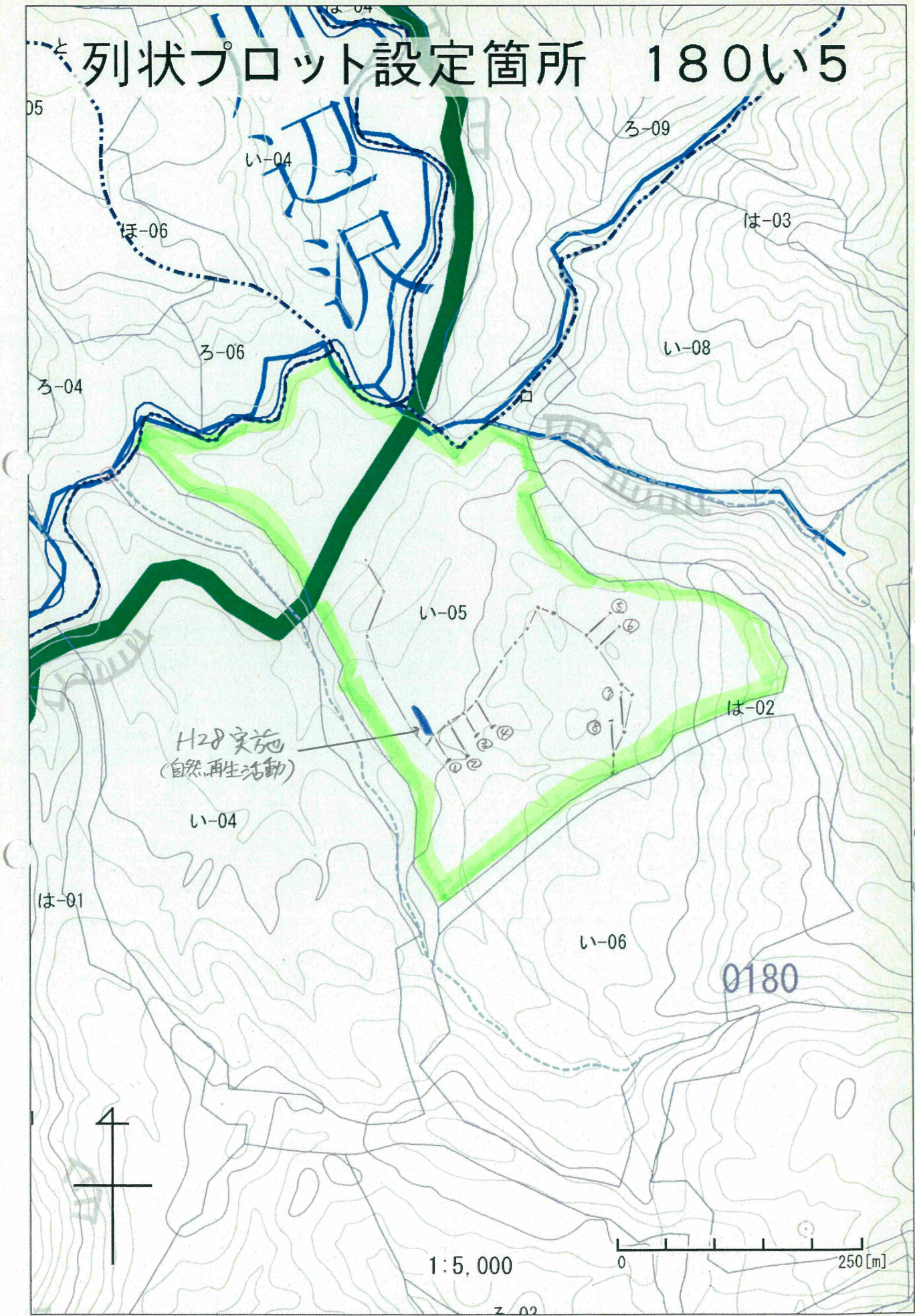


植栽作業中



周辺のブナ林散策

列状プロット設定箇所 180い5



第1回、第2回の自然再生活動を実施しました



スギの間伐箇所では広葉樹林化を図ります



カミネッコン（段ボール素材のポット）を使用し植樹しました



本事業の目指す姿である天然林の散策を行いました

7月23日（土）と9月17日（土）の2回、当センターの自然再生活動を通称白神ライン（青森県道28号岩崎西目屋弘前線）に隣接する西目屋村暗門の鬼川辺国有林内で実施しました。

この活動は白神山地世界遺産地域周辺のスギ人工林を、元々の植生であるブナ等広葉樹林に戻していくため、自然再生活動として広葉樹苗木の採取や植付けなどを実施するもので、活動終了後は、周辺のブナ林の散策を行っています。森林内での作業を行ったことがない方でも気軽に出来る内容となっており、今年度の参加者は、採取した大きめの稚樹をスコップで自ら穴を掘ってそのまま植え込み、小さめの稚樹は自ら作成したカミネッコンに苗木と土を入れ林内の安定した場所に置くといった作業を実施・体験しました。100年後を見据えたブナ林再生の作業に、参加者からは充実感を感じるコメントを多くいただいたところです。

また、周辺のブナ林散策ですが、7月23日（土）は津軽峠周辺に点在するブナ巨木を巡る遊歩道「ぶな巨木ふれあいの径」と「マザーツリー」、9月17日（土）は暗門溪谷に程近い「世界遺産の径ブナ林散策道コース」において実施し、参加者は解説員（職員）の話聞きながら、大きなブナの迫力を感じるとともに、白神山地の自然環境を体感していました。

こうした活動は今後も公募等により、多くの人参加を得ながら地道に行っていきたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしています。（吉川）